

京都府地球温暖化防止活動推進センター通信

STOP! GLOBAL WARMING

うおーみんぐ

LET'S WARM UP OUR ACTION

平成17年
秋号

~ 第6号 ~

地球温暖化問題に取り組む人のための通信です。
実践活動への意欲を、アイデアを、仲間同士の関係を、ホットに温めます！



「まいづるおひさまプロジェクトチーム」が
赤レンガフェスタに出展したブースの様子
(関連記事 7面)

CONTENTS

巻頭特集

家庭の省エネの身近なアドバイザー！

「省エネマイスター」認定モデル事業スタート2 ~ 3

KES・環境マネジメントシステム・スタンダード

その概要と普及に向けた動き4 ~ 5

CLOSE-UP 地域活動！

各地で動き始める「推進員連絡会」6

活動レポート6 ~ 7

事務局からのお知らせ 他8



京都府地球温暖化防止活動推進センター

Kyoto Center for Climate Actions

京都府地球温暖化防止活動推進センターは、府内の温暖化防止活動を様々な面からサポートし、一層活性化させることを目的に活動するセンターです。平成15年10月10日、府内の多様な団体が連携し新たに立ち上げたNPO法人京都地球温暖化防止府民会議が京都府知事からセンターとしての指定を受け、その活動を開始しました。

京都府地球温暖化防止活動推進センターの活動は、国、京都府、府内の多様な団体、会員の皆様などのご支援によって支えられています。

「省エネマイスター」認定モデル事業、スタート！

家庭の省エネの身近なアドバイザー

平成17年度環境省委託事業

地球温暖化防止のためには、家電製品を購入するときに省エネ型のものを選択することが非常に重要です。省エネ性能の高い製品を選択すれば、同じように使ったとしても大きな省エネになり、光熱費もお得になります。

「でも、どれが省エネ型の製品かなんてよくわからない」や「省エネ製品と言っても、使い方によって電気代もけっこう違うんでしょ？どんな使い方をしたらよいのかしら？」という人も多いはず。そこで、「省エネマイスター」認定モデル事業を実施することになりました。これは、地球温暖化防止や省エネ製品について十分な知識を持ち、省エネ製品の販売促進を積極的に行う家電店の店員を「省エネマイスター」として認定し、認定された「省エネマイスター」を通じて省エネ型製品の選択を促すものです。「マイスター」とは「職人」のこと。家電の専門家である電気屋さんが、省エネについてもアドバイスをしてくれるようになるのです。

今年度は、「省エネマイスター」の研修・認定に加え、門灯など長時間の点灯が必要な照明器具での「電球型蛍光灯」ならびに「明るさ・熱線センサー付きライト」を普及させるためのキャンペーンを行います。家庭の省エネ・省エネ型照明の普及に関する消費者対象の学習会も、地域女性団体などの協力を得て府内15箇所で開催します。

具体的な事業内容は、右頁をご覧ください。



「省エネマイスター」の啓発ポスター

この事業は「省エネマイスター事業」実行委員会が実施いたします。(実行委員会参加団体一覧・順不同)

特定非営利活動法人環境市民 / 特定非営利活動法人気候ネットワーク / 特定非営利活動法人木野環境 / 特定非営利活動法人コンシューマーズ京都 / 京都府連合婦人会 / 京都府生活学校連絡協議会 / 京都市地域女性連合会 / 京エコロジーセンター(京都市環境保全活動センター) / 京のアジェンダ21フォーラム / 宮津市エコネットワーク / 京都府電機商業組合 / 谷山無線電機株式会社 / 有限会社森田電設 / 株式会社ジイケイ京都 / 有限会社ひのでやエコライフ研究所 / 京都市 / 京都府 / 京都府地球温暖化防止活動推進センター (= 実行委員会事務局)

「省エネマイスター」認定モデル事業の概要



< 1 > 「省エネマイスター」養成研修会を実施し、認定を行います！

主に家電店店員を対象とした「省エネマイスター」認定のための研修会を、府内4ヶ所で実施しています。計300人以上の方が受講される予定です。

受講者には、京都府地球温暖化防止活動推進センターが認定する「省エネマイスター」認定証を授与しています。また、< 2 >の「省エネ型照明器具付け替えキャンペーン」の対象店舗となります。



写真：研修会の様子



< 2 > 省エネ照明器具付け替えキャンペーンを実施します！

11月1日～12月31日の期間、地域団体、女性団体、環境団体等を通じて、省エネ型照明器具への付け替えを促すチラシを府内10万世帯に配布します。「省エネマイスター」の認定を受けた店員のいる店舗に当該チラシを持参の上、電球型蛍光灯もしくは熱線センサー付きライトの購入をされた方に、チラシ1枚につき100円を割引するキャンペーンを行います。

チラシのまとまった配布にご協力いただける方は京都府地球温暖化防止活動推進センターまでご連絡ください。



< 3 > 地域での消費者向け省エネ学習会を開催します！

10月後半から12月にかけて、府内の多様な団体と協力して、家庭の省エネ・省エネ型照明の普及に関する学習会を実施します。学習会は、府内15ヶ所程度で実施する予定です。

これに加え、各地のイベントのブース等で、電球型蛍光灯の消費電力計測の実演を行って情報を発信します。



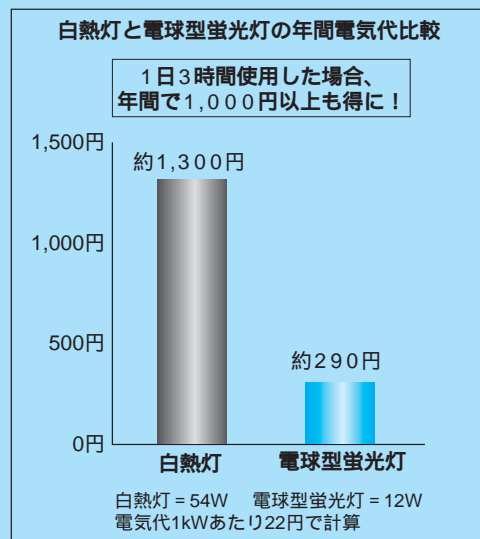
省エネ電球はこんなに省エネ・こんなにお得！

ご家庭の脱衣所・お風呂場・洗面所・門灯などで「白熱灯」（通常の電球）を使っているっていませんか？もしお使いでしたら、機を見て電球型蛍光灯（省エネ電球）に取り換えてみましょう。

購入する際の値段は高いのですが、白熱灯に比べて電力消費量は1/4程度ですみ、寿命は6倍程度長持ちするため、長期的に見ればお金の面でも得になります。

省エネ製品の選択で、かしこく温暖化防止をすすめていきましょう！

調光機能のついたものなど、電球型蛍光灯（一部を除く）を取り付けられない照明器具もあります。詳しくは、製品の説明をご覧ください、電気屋さんにご確認下さい。



京都議定書が発効し、日本は6%の温室効果ガス排出削減が義務付けられました。温暖化問題は、日常生活や企業活動のあらゆる場面に関わる問題であり、解決のためには、国や大企業だけではなく、中小企業や家庭も着実に対策を進めていかねばなりません。

中小企業が温暖化対策を含む環境対策を進めるための低コストで取り組みやすい仕組みとして「KES・環境マネジメントシステム・スタンダード」が注目されています。京都から始まったこの仕組みについて紹介します。

KES・環境マネジメントシステム・スタンダードとは

KES・環境マネジメントシステム・スタンダード(以下、KES)とは、Plan(計画) - Do(実施) - Check(点検) - Action(見直し)のサイクルの中で、環境への負荷を継続的に減らしていくための仕組みです。このような仕組みとして、国際規格であるISO14001が広く知られていますが、ISO14001は取得・運用にかかる経済的・人的な負担が重く、中小企業にとっては取得しづらいのが実情です。そこで、ISO14001の基本的なコンセプトを活かしつつ、内容をシンプルにかつ用語を平易にして取り組みやすくし、かつ低コストで取得できる趣旨で作られたのがこのKESです。

KESには、STEP 1(環境問題に取り組み始めた段階を想定したもの)とSTEP 2(将来ISO14001の認証取得を目指して取り組む段階で、ISO14001と同じ要求項目を設けたもの)の2つのステップが用意されており、事業所等の実情に応じて取り組むことができます。また、学校版KESもあります。現在、約700の事業所・学校がKESの認証を取得しています。

STEP1・STEP2・学校版KESのいずれも、ISO14001と同じく、活動の実効性と継続性を第三者が確認する制度となっています。もっとも、コンサルタント及び審査はボランティアベースで活動する審査員が行うことなどから、ISO14001に比べて圧倒的に低コストで取得することができ、これがKESの大きな特徴となっています。取得にかかる標準的な費用は右上の表のとおりです。事業規模によっては数百万円の取得費用がかかると言われるISO14001に比して、格段に安いことが分かります。まさに中小企業にぴったりの環境マネジメントシステムと言えるでしょう。

表：KESの取得にかかる費用(標準)

	初回審査費用	標準コンサル費用	継続のための確認審査費用
STEP1	約6万円	約3万円	約3万円
STEP2	約20万円	約6万円	約9万円

標準：従業員100名以下、登録事業所1ヶ所、京都市近辺。事業規模、審査登録希望事業所数、所在地などによって別途費用が必要。詳しくはKES認証事業部へ問い合わせを。(京のアジェンダ21フォーラム発行のKES紹介パンフレットより)

京都から他地域へ - 広がるKES -

KESを策定したのは、京都市内の多様な主体によるパートナーシップ組織である「京のアジェンダ21フォーラム」の中につくられた「企業活動ワーキンググループ」です。『環境問題は重要な課題であると認識しながら実態は環境問題への取り組みが実行されていない、ISO14001の取り組みには消極的で、その理由は具体的な活動に対する情報不足とコスト問題がネック』というアンケート結果を受け、京都工業会・環境委員会などが中心となって独自の環境マネジメントシステムであるKESを策定し、2001年4月に「京のアジェンダ21フォーラム・KES認証事業部」を設立してこの制度をスタートさせたのです。

京都で始まったKESですが、現在は大阪、三重、神戸など各地に審査登録機関ができ、同様の基準で審査が行われています。京都発の仕組みが、全国に広がりつつあります。

KESの効果

KESを取得すると、エネルギー利用の効率化を図ることができ、コストダウンにつながるるとともに二酸化炭素排出削減にもなります。実際、認証取得事業所の取り組み結果からは、二酸化炭素の削減につながっていることがわかります。(右ページ参照)

また、KESに取り組むことは、環境負荷の低減とい

～その概要と普及に向けた動き～

KESについての問い合わせ先

京のアジェンダ21フォーラム KES 認証事業部
京都市右京区西京極豆田町2 京都工業会館 2F
TEL/FAX : 075-323-6686

う効果以外にも、「環境に優しい企業として認証され、取引等にも有利になる」、「環境管理体系が経営管理にも応用できる」、「法規制順守に対応できる」、「従業員の環境意識が高まる」といった様々な効果をあげることが見込まれます。

1 事業所あたり、年間約 10 トンの二酸化炭素削減効果！

2001年から2005年5月までの間にKESを認証取得し、電気・ガスなどエネルギーの削減に取り組んだ359事業所（環境改善活動実績が1年以上あるもの）で、取得初年度1年間に削減されたCO₂の合計は、年間3,476t分、1事業所あたり約10tの削減となります。
（京のアジェンダ21フォーラム発行のKES紹介パンフレットより）

KES 普及に向けた今後の取り組み

「各地に審査登録機関ができてきたこともあり、KES 認証取得事業者数は、当初の予想以上の伸び」（KES 認証事業部 津村昭夫氏）とのことですが、温暖化防止のためには、今後、取得企業数をさらに増やしていくことが必要と言えるでしょう。とりわけ、京都議定書採択の地でもあり、またKESが生まれた地でもある京都では、先導的にKES 普及していくことが求められています。

そこで今年度から、経済界（京都商工会議所・京都工業会）と行政（京都府・京都市）が一体となって、中小企業の「環境マネジメント推進事業」を推進することになりました。これは、セミナーの開催あるいは導入ガイ

ドの作成・配布を通じてISO14001やKESといった環境マネジメントシステムの導入を働きかけるもの。セミナーは、京都市内5箇所・京都市内を除く京都府内5箇所で実施されるほか、要望があればさらに増やすことも想定している（津村氏）とのことです。京都市内の事業所の取得が多いKESですが、この取り組みを通じて府内各地での取得が進むことが期待されます。なお、京都府地球温暖化防止活動推進センターも、「共催」という形でこの事業全体を後押しするほか、府内でセミナーを主催するなどして、KESの普及に取り組んでいきます。

主催団体の窓口と問合せ先（市外局番はいずれも075）
京都商工会議所・・・産業振興部（212-6443）
京都工業会・・・業務課（313-0751）
京都府・・・・・・企画環境部自然・環境保全室（414-4715）
京都市・・・・地球環境政策部地球温暖化対策課（222-3452）

地球温暖化対策のための中小企業・環境マネジメントセミナー ご案内

日時：平成17年10月27日 13:30～15:30
場所：アグリセンター大宮 多目的ホール
（京丹後市大宮庁舎東側）
内容：講演「環境マネジメントシステムについて」
主催：京都府、（社）京都工業会、丹後商工会協議会
与謝地方商工団体連絡協議会
京都府地球温暖化防止活動推進センター
共催：京都府商工会議所連合会
申込：（FAXにて）
京丹後市弥栄商工会
TEL：0772-65-3137 FAX：0772-62-2363
京都府京丹後保健所
TEL：0772-62-1361 FAX：0772-62-4342
今後、山城・南丹・中丹地域でも実施予定

担い手からの メッセージ

京のアジェンダ21フォーラム KES 認証事業部 津村昭夫さん

台風の大型化などにより、温暖化問題についての意識は非常に高くなっていると思います。ではどうやって取り組むか。私は、環境マネジメントシステムが有効だと考えています。こういう手法を使うと、確実に取り組めて成果もはっきり把握できます。特に、海外の企業との取引などでISO14001認証取得を求められるのであれば、KESをお勧めします。行政にも取得をお勧めしたいです。低コストで取り組むことができますので。

加えて、取引の時にはぜひ「グリーン調達」の基準としてKESを使って欲しいですね。KESはその基準として十分に使える仕組みです。実際、多くの大手企業がグリーン調達基準としてKESを採用しています。環境に配慮する企業から製品を購入することが、環境に配慮する企業を育てることにつながります。

また、一般の皆様には、KESのような、環境負荷を定量的に把握し継続的に改善するマネジメントの仕組みを、日常生活にも活用して欲しいと思います。例えば、環境家計簿に取り組むことがそれにあたるかもしれません。



各地で動き始める「推進員連絡会」

@京都府全域

このコーナーでは、地域での温暖化防止活動の実践例を紹介します。

「同じ地域の地球温暖化防止活動推進員同士が情報交換し、時には協力して活動すれば、もっと魅力的な地域活動をつくれるのでは？」

こんなアイデアを何人もの推進員からいただき、推進員研修の場で提案したところ、地域ごとに「推進員連絡会」を立ち上げていただけることになりました。

すでにいくつかの各地で連絡会の会合がもたれ始めています。

連絡会の会合では、「環境教育のチームを立ち上げ、まずは自分たちの研修からはじめ、いずれは行政とも協力しながら小学校などへの出前授業をやりよう！」「地域のお祭りにブースを出展して温暖化の啓発を実施しよう！」「イベントで、親子で参加する環境工作教室を実施しよう！」などのアイデアが出され、実施に向けて動き始めています。

これらの活動の様子は、連絡会の

世話人の方々から情報をいただき、今後新たに作成する「推進員連絡会通信(仮)」に掲載して、推進員の皆様にお届けする予定です。

なお、こういった推進員の主体的な活動を支援するため、京都府が予算を確保しました。今後の温暖化防止活動の更なる活性化が期待されます。

活動レポート

s { n · g > h ~ fi i z ^ [~ fi æ

Report

グリーン購入自治体セミナーで京都府産認証木材のPRを行いました。

8月26日、9月2日、9月7日の3回、京都府下の自治体を対象に京都グリーン購入ネットワークが開催した標記のセミナーにて、“あなたの自治体の公共事業にぜひとも認証木材を”とPRを行いました。“環境に配慮した公共事業によって、具体的にどれだけ二酸化炭素が削減できたか”を一般の人にPRできるこの制度を、もっと多くの自治体に活用していただくべく、今後もPR活動を続けて行く予定です。

ウッドマイレージCO2を組み込んだ京都府産木材認証制度については、うぉーみんぐ第4号またはWebサイトをご参照下さい。



写真：京都府産認証木材（丸棒と合板）

「京都住宅評価モデル事業」ワーキング開催中。

環境省からの委託を受け、「京都住宅評価モデル事業」を実施しており、現在、地球温暖化防止への貢献度を評価することに重点を置き、かつ地域の工務店などでも比較的簡単に利用できるような住宅の環境性能評価マニュアルを作成中です。

断熱性や機密性といった省エネ性能の評価だけでなく、使われている資材の環境負荷などについても評価できるような、特色ある評価システムづくりを考えております。

すでに3回のワーキング（検討会）を終え、マニュアルがずいぶん形になってきました。これから、実際に建築中の住宅でモデル的に評価を実施して問題点を洗い出し、使いやすいツールになるよう更なる検討を行っていきます。

推進員研修を実施しています

京都府地球温暖化防止活動推進員の皆様の活動を情報面からサポートするため、研修事業を実施しています。8月には、木質バイオマス利用や太陽エネルギー利用をテーマに研修を行いました。今後も、多様なテーマについての情報をお伝えするとともに、推進員同士の連携を図っていきます。

次ページに続く

「夏休み省エネチャレンジ（エコ親子認定事業）」を実施し、1,000通を超える返送がありました

小学生の児童が夏休み期間中に家庭で温暖化対策に取り組む「夏休み省エネチャレンジ」を実施しました。現在取り組みチェック票の回収を行っています。今年は教育委員会を通じて学校へ広報を行ったことに加えて推進員が各地で広報をおこなって下さったこともあって、1,000通を上回る回収結果となっています。

今後、参加した全ての親子を「エコ親子」として認定し、認定証と参加賞、優秀賞などを送付する予定です。

「地球の学校」を実施しています

大人向けの参加型学習会「地球の学校」を、岩滝町や綾部市などで実施しています。

気候ネットワークや京都生協宮津支部と協力して実施した岩滝町での「学校」の2回目では「地域でできる温暖化防止活動」の企画ワークショップを行いました。すると、省エネ製品の普及などに関する非常に具体的な企画案がいくつも出されました。参加者によって地域活動が展開されることが期待されます。

今後、地域協議会「エコパートナーシップうじたわら」と協力して宇治田原町で3回連続のプログラムを実施する予定となっています。



「うみかぜ風力エネルギー普及モデル支援事業（うみかぜ学習会）」を実施しています

今年度、京丹後市は小型・中型風力発電施設の設置に対する補助事業を行っています。当センターは、温暖化防止の重要性と自然エネルギー普及の意義について伝えるため、京丹後市や地域協議会「京丹後エコファミリー」と連携しながら学習会を実施しています。9月には、竹野小学校、宇川小学校、豊栄小学校の児童対象に温暖化の教室を実施しました。また、婦人会メンバー向け、あるいは補助事業の設置希望者向けにも学習会を行いました。

丹後地域にて「きょうとみんなの風車プロジェクト」を進めています

「きょうとみんなの風車プロジェクト」では、丹後地域での「市民風車」設置の可能性を検討する研究会を立ち上げ、活動を行っています。北海道や青森県、秋田県、鳥取県などで実施されている先進事例の情報収集を行っているほか、7月には立命館大学の和田武教授らを中心としたメンバーで候補地視察を行いました。地域の方々とも連携をとりながら、今後も設置の可能性について模索していきます。

府内にて「親子温暖化教室」を実施しています

府内の小学校児童やその保護者らを対象に「親子温暖化教室」を実施しています。7月には、物部小学校（綾部市）や「エコスクールinまいづる」内で、9月には、岩滝小学校（岩滝町）や由良小学校（宮津市）で、クイズや自転車発電体験なども取り入れた学習会を行いました。

10月には、推進員綾部連絡会との協力のもと、コスモス祭（綾部市）で、太陽光発電を使った模型の工作を実施することになっています。

「まいづるおひさまプロジェクト」が進行しており、サポートチームが支援活動を行っています

7月25日、舞鶴にて推進員8名と舞鶴TMOの有志による「まいづるおひさまプロジェクトチーム」が発足し、京都府、舞鶴市等の協力のもと、太陽光発電による市民共同型の発電所（おひさま発電所）を設置すべく活動しています。当センターの「自然エネルギー普及サポートチーム」も支援を行っています。

10月8、9日には、「赤レンガフェスタ」にて、ブースでのパネル展示や「おひさまTシャツ」の販売、太陽光パネルで動く噴水の展示等を行いました。また、おひさま発電相談コーナーを設けて、太陽光発電に関する情報を発信しました。（表紙の写真参照）

他にも多くの活動を実施しています。最新の情報は、Webサイトをご覧ください。

事務局からのお知らせ

ブログで日常の活動情報を発信しています。

京都府温暖化防止センターの活動を写真つきで紹介するブログを随時更新中です。各地で実施したイベント・学習会の報告を掲載しているほか、スタッフやインターンシップ実習生が活動の中で感じたことを書き込んでいます。ぜひご覧ください。

<http://www.kcfca.or.jp/> をご覧ください

イベント情報をお寄せ下さい。

Webサイトの「温暖化関連イベントカレンダー」では、府内各地で開催される温暖化関連のイベント情報を紹介しています。ぜひ情報をご活用いただけますとともに、皆様の地域で開催されるイベントの情報をお寄せ下さい。

環境家計簿活動にご参加下さい。(11～1月版の参加者募集中)

環境省からの委託を受け、環境家計簿事業を実施しています。これは、3ヶ月間、家庭の光熱費や取り組み状況を記入してチェックするもので、記入済みの用紙をお送りいただければ、コンピューターで取り組み状況を診断して「通信簿」をお渡しします。また、参加者全員にすてきな省エネグッズをプレゼントいたします。「自分の家庭の電気・ガスの消費量は平均に比べて多いのかな？少ないのかな？」「私の家庭は、どんなところでたくさんの二酸化炭素を出しているんだろう？」。そんな疑問もすっきり解決するこの取り組みに、ぜひご参加ください。

なお、団体としての参加も大歓迎。要望に応じて出張説明会(学習会)も提供できます。

関心を持たれた方は、事務局までお気軽にお問い合わせ下さい。

12 / 10・11

「京都環境フェスティバル2005」を開催します！

テーマ：「もったいない」の心でひらく地球の未来」

主催：京都府、京(きょう)と地球(アース(あす))の共生府民会議、財団法人自治総合センター、京都府地球温暖化防止活動推進センター

会期：平成17年12月10日(土)・11日(日) 10:00～16:00

会場：京都府総合見本市会館(パルスプラザ)(京都市伏見区竹田鳥羽殿町5)

内容：NGO/NPO、企業、行政によるブース出展

テーマゾーン(テーマ「もったいない」の心でひらく地球の未来」について考えるゾーン)

低公害車試乗コーナー

自転車啓発コーナー

ミニステージ(片山右京トークショー(予定)、クイズ大会等)

フリーマーケット 等

詳細な情報は、今後、チラシやWebサイトでお知らせいたします。

バイオディーゼル燃料(廃食油を精製した燃料)で
7時間耐久レースを完走した
元F1ドライバー、片山右京氏の
トークショーも実施予定!

京都府地球温暖化防止活動推進センター通信「うぉーみんぐ」

i % < 17 N H @ % 17 N 10 > si N 4 a > s j j

発行：京都府地球温暖化防止活動推進センター

(特定非営利活動法人 京都地球温暖化防止府民会議)

理事長：郡島 孝 運営委員長：浅岡 美恵

〒604-0965 京都市中京区柳馬場通二条上る六丁目283番4

TEL: 075-211-8895 FAX: 075-211-8896

URL: <http://www.kcfca.or.jp> E-mail: center@kcfca.or.jp

編集：伊東 真吾 木原 浩貴 瀧上 佑樹 林川 美保

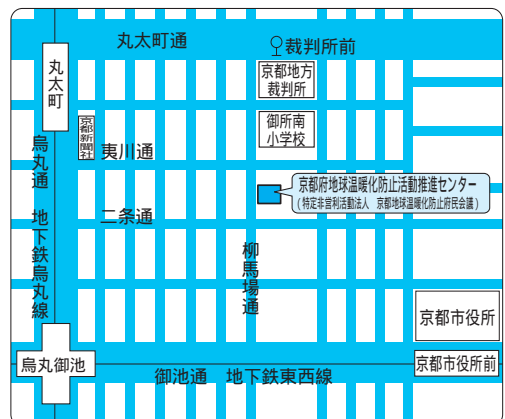
法人の活動を支えてくださる会員を募集しています!

年会費 正会員(個人): 1,000円 正会員(団体): 2,000円

準会員(個人): 1,000円 準会員(団体): 2,000円

賛助会員: 10,000円

詳しくは事務局までお問い合わせください。



この印刷物は、古紙配合率100%の再生紙に、大豆油インキで、風力発電による自然エネルギーを使って印刷しています

